

平成23年 1月28日  
三菱製紙株式会社

## 不織布製造設備の新設について

三菱製紙株式会社は、不織布事業の対象分野として建築材料、印刷材料、光触媒など機能性フィルター、水処理用濾材、二次電池用セパレータなどの商品を扱ってまいりました。水処理用濾材は、日本のみならず新興国でも需要が急拡大している分野であり、また、二次電池用セパレータは車載用のリチウムイオン電池のセパレータの需要が拡大しております。これらの特に成長力の大きい水処理用濾材と電池用セパレータに関して研究資源、人的資源、資金などの経営資源を集中的に投下し、新商品の開発・販売を強力に推進していくことにより、不織布事業の拡大を図る方針であります。

不織布製品は主に、高度な抄紙技術を必要とするコンデンサーペーパーやトレーシングペーパー等の生産実績を持つ高砂工場にて製造しておりますが、今般、生産設備の新設を同工場で行い、さらに高付加価値商品の増産を計画しております。

設備投資金額は20億円を見込んでおり、平成24年1月からの営業運転を予定しております。

需要状況により複数の次段階の投資を行う予定であります。売り上げ目標として数年内に100億円の事業規模を目指しております。

### (新設備の概要)

1. 生産品種 湿式不織布
2. 設置場所 三菱製紙株式会社 高砂工場（兵庫県高砂市）
3. 設備投資金額 20億円
4. 営業運転開始 平成24年1月

なお、本事業は、経済産業省の平成22年度「低炭素型雇用創出産業立地推進事業」に採択されました。

本件に関するお問い合わせ先：

イメージング&ディベロップメントカンパニー

新事業開発ユニットマネージャー 原田 純二 電話 03-3213-4901

以 上